

平成29年度

事業報告書

4. 事業

(1) 発掘調査受託事業

平成 29 年度発掘調査受託事業収入の当初予算額は、960,400,000 円であったが、調査の進捗状況等により、最終的に契約金額 920,362,104 円（契約件数 20 件）となった。内訳は、別添資料 1 のとおりである。

区 分	当初予定	契約実績	差異
受託事業費（千円）	960,400 千円	920,362.1 千円	△40,037.9 千円
契約件数（件）	23 件	20 件	△3 件
発掘調査（北部）	5 件	4 件	△1 件
発掘調査（中部）	4 件	3 件	△1 件
発掘調査（南部）	7 件	6 件	△1 件
遺物整理	5 件	5 件	0 件
普及啓発・出土品整理	2 件	2 件	0 件

現地説明会を 6 回実施し、参加者は 656 名であった。

5 月 13 日（土）	芝山遺跡第 16 次（城陽市）	106 名
5 月 20 日（土）	北大塚古墳（井手町）	111 名
8 月 26 日（土）	丹波丸山古墳群（京丹後市）	76 名
8 月 27 日（日）	岡田国遺跡（木津川市）	86 名
1 月 20 日（土）	佐伯遺跡（亀岡市）	152 名
1 月 21 日（日）	美濃山遺跡（八幡市）	125 名

なお、調査を実施したもののうち、特に顕著な調査成果が得られているものは、次表のとおりである。

番号	遺跡名	所在地	主要遺構等	時代
1	岡田国遺跡	木津川市 木津	奈良時代の溝群 奈良時代の建物跡 平安時代の建物跡及び井戸	奈良・平安時代
番号	遺跡名	所在地	主要遺構等	時代
4	北大塚古墳	綴喜郡 井手町	横穴式石室を埋葬施設とする円墳 4 基 須恵器・鉄器・耳環が出土	古墳時代
6	美濃山遺跡	八幡市 美濃山	弥生時代後期の竪穴建物 竪穴建物から谷部に掘られた排水溝 古墳時代の竪穴建物	弥生・古墳・奈良時代

			奈良時代の掘立柱建物	
--	--	--	------------	--

調査報告書については各 300 部印刷し、以下のとおり刊行した。内容は資料 3 のとおり。

- 『京都府遺跡調査報告集 第 171 冊』 3 月刊行
- 『京都府遺跡調査報告集 第 172 冊』 3 月刊行
- 『京都府遺跡調査報告集 第 173 冊』 3 月刊行
- 『京都府遺跡調査報告集 第 174 冊』 3 月刊行
- 『京都府遺跡調査報告集 第 175 冊』 3 月刊行
- 『京都府遺跡調査報告集 第 176 冊』 3 月刊行

(2) 普及啓発事業

(ア) 埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーの実施状況は、次のとおりである。

回数	開催日	実施内容	会場
135	平成 29 年 6 月 10 日 (土)	<p>『丹後国独立！』～遺跡が語る古代の丹後～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・律令国家のなかの丹後国 京都府立大学 教授 菱田哲郎 ・丹後国府を探る～宮津市府中の遺跡～ 宮津市教育委員会 主任 河森一浩 ・丹後の最新技術～塩・鉄・織物～ 当調査研究センター 企画調整係長 筒井崇史 <p>コーディネーター 当調査研究センター 課長 小池 寛</p>	<p>京都府立丹後郷土 資料館 (参加者 69 名)</p>

136	平成 29 年 11 月 26 日 (日)	『秀吉の京都大改造 ～首都構想の謎に迫る～』 ・秀吉の城づくりと町づくり ～秀吉の目指した首都とは～ 同志社大学 教授 鋤柄俊夫 ・寺町の形成とその意義 当調査研究センター 主任 綾部侑真 ・ここまでわかった御土居の実像 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所 調査係長 南 孝雄 ・発掘調査と地表探査から迫る聚楽第の姿 京都府教育庁指導部文化財保護課 副主査 古川 匠 コーディネーター 当調査研究センター 企画調整係長 筒井崇史	イオンモール京都 桂川イオンホール (参加者 139 名)
137	平成 30 年 2 月 24 日 (土)	『木津川流域の遺跡を読み解く』 ・奈良の都と木津川 木津川市教育委員会 主任 大坪州一郎 ・木津川流域にひろがる古代寺院 当調査研究センター 総括主査 石井清司 ・木津川沿いの古道と遺跡 当調査研究センター 主査 村田和弘 コーディネーター 当調査研究センター 企画調整係長 筒井崇史	木津川市相楽会館 (参加者 108 名)

(イ) 成果展 (京都府教育委員会委託事業)

平成 28 年度に当調査研究センターが実施した調査成果を中心として、府内市町村の成果も加え成果展を開催した。下水主遺跡出土の農工具を中心に古殿遺跡出土の案や浅後谷南遺跡出土の木製容器や建築部材等を出品した。巡回展として京都府立山城郷土資料館においても実施した。

発掘された京都の歴史 2017 木とともに生きる～道具のいまむかし～

- ・会 場：向日市文化資料館
- ・会 期：平成 29 年 8 月 5 日 (土) から同 27 日 (日) 20 日間
- ・参加者：2,189 名

- ・会 場：京都府立山城郷土資料館
- ・会 期：平成 29 年 9 月 9 日（土）から同 24 日（日）14 日間
- ・参加者：641 名

(ウ) 機関誌

機関誌『京都府埋蔵文化財情報』は、次のとおり刊行した。内容は資料 3 のとおり。

第 132 号	10 月刊行	1,500 部
第 133 号	3 月刊行	1,500 部

(エ) 埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）【新規】

府内の遺跡発掘調査成果等を発信するリーフレット『もっと知りたい京都の遺跡』を年 2 回作成した。（A 3 版、二つ折り、カラー刷り）

- 創刊号「古墳は語る！」 3,000 部
- 第 2 号「縄文マジカルミステリーツアー」 3,000 部

(オ) 出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校と連携して、出前講座や発掘調査体験授業、夏休み考古学体験講座「勾玉をつくろう！」（京都府教育委員会委託事業）を通して、積極的な文化財保護の啓発を行った。あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行った。

○夏休み考古学体験講座（京都府教育委員会委託事業）

講座名 「勾玉をつくろう！」

- | | | | | |
|-----|-------|---------------------|-----------|----------|
| 日 時 | 第 1 回 | 平成 29 年 8 月 16 日（水） | 午前 10 時から | 参加者 30 名 |
| | 第 2 回 | 平成 29 年 8 月 16 日（水） | 午後 2 時から | 参加者 29 名 |
| | 第 3 回 | 平成 29 年 8 月 17 日（木） | 午前 10 時から | 参加者 30 名 |
| | 第 4 回 | 平成 29 年 8 月 17 日（木） | 午後 2 時から | 参加者 30 名 |
| | 第 5 回 | 平成 29 年 8 月 18 日（金） | 午前 10 時から | 参加者 32 名 |
| | 第 6 回 | 平成 29 年 8 月 18 日（金） | 午後 2 時から | 参加者 34 名 |

対 象 乙訓管内の小学 4～6 年生を対象とする。

人 数 合計 185 名

○京都府教育委員会「京のまなび教室推進事業」

教室名 「楽信すくすく教室」

開催日 平成 29 年 8 月 7 日（月）

会 場 長岡京市立長法寺小学校

参加者 6 名

○教育局別「子どものための地域連携事業」指導者等第 2 回研修会

内 容 勾玉づくり

開催日 平成 29 年 12 月 8 日（金）

会 場 当調査研究センター 研修室
参加者 16名

○八幡市男山東中学校区学校支援地域本部「美濃山遺跡発掘調査見学会」
開催日 平成30年1月13日（土）
参加者 130名

（カ）「関西考古学の日2017」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟13法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日2017」に関連して、当調査研究センターでも京都の歴史を紹介する講座を開講した。

秋の考古学講座

第1回 平成29年9月2日（土） 午前10時から

「軽石の考古学」 受講者17名

調査課長 小池 寛

第2回 平成29年10月7日（土） 午前10時から

「縄文土器の文様を復元する（復元体験）」 受講者15名

調査員 菅 博絵

第3回 平成29年11月4日（土） 午前10時から

「軒瓦の文様を読み解く」 受講者13名

企画調整係長 筒井 崇史

（キ）「向日市まつり」での考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）

平成29年11月18日（土）・19日（日）に京都向日町競輪場において開催された「向日市まつり」に「伝統の網代編みに挑戦しよう！」と題したブースを運営した。縄文時代以来の網代編みでコースターを作り、体験者に持ち帰っていただいた。体験者は、2日間で107名であった。

（ク）共同研究

当調査研究センターにとって必要な調査研究を行い、その研究成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資するため、職員により共同研究を行った。今年度の共同研究は以下のとおりである。
（下線は申請者）

研究題目：平安京城における16～17世紀にかけての輸入陶磁器（継続）

共同研究員：田原葉月・綾部侑真・引原茂治・武本典子

研究題目：出土土器からみた官衙と集落の比較検討（新規）

共同研究員：筒井崇史・内藤 京

研究題目：京都府内における横穴式石室導入期の古墳の検討（新規）

共同研究員：竹村亮仁・荒木瀬奈

(ケ) 出土品の台帳作成等 (京都府教育委員会委託事業) [新規]

出土品の再整理を行い、公開・活用が可能な状態にした。

・伏見城跡 (平成2年度調査)	207箱
・伏見城跡 (第4次調査)	133箱
・平安京跡 (九条車庫)	18箱
・平安京跡 (大極殿)	29箱
・平安京跡 (聚楽第跡)	73箱
合 計	460箱

5 その他

(1) 職員研修

(ア) 専門研修

全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロック研修会及び文化庁が主催する講習会などに参加した。

公益財団法人公益法人協会が実施する会計セミナーに参加した。

(イ) 一般研修

人権研修推進委員会が中心となり、鈴江理事の協力を得て、10月31日に職場研修を実施した。また、臨時職員を対象とした職場づくり研修を本部及び発掘調査事務所で実施した。このほか、京都府・乙訓教育局・亀岡市開催の人権研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座に積極的に参加した。

(2) 遺跡検討会

報告書を刊行した2遺跡について、職員とともに理事及び関係機関の協力を得て、以下の遺跡検討会を実施した。

「寺町旧域・法成寺跡」

平成29年9月29日 (金)

参加者：上原理事、京都市、公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所、
センター職員

「平安京一条三坊二町 (府警本部)」

平成29年11月30日 (木)

参加者：京都市、センター職員

(3) 講師派遣

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣した。